

令和2年度 横浜市民意識調査の報告書がまとまりました

横浜市では、市民の皆様の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和47年度から、**横浜市民意識調査**を毎年実施しています。

令和2年度の調査結果は、単純集計結果を12月24日に速報として公表しましたが、さらに年齢別や居住区別などのクロス集計の結果を含めて報告書としてまとめましたのでお知らせします。

今年度の主な調査項目

市政への満足度・要望

定住意識

★人口減少についてのとらえ方

★今後そうなるとよいと思う横浜のまち

★環境の変化への期待・不安

★印の項目は令和2年度の特集調査項目

報告書から

◎**今後の横浜のまち** ～年齢別集計結果から[報告書 P101]

■**今後の横浜のまちについて、どのようなまちになるとよいと思いますか。(5つまでの複数回答)**

		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	18～29歳 (n=262)	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 37.8	医療体制が充実している 36.3	子どもを安心して育てられる 35.9	豊かな自然がある／災害に強い 29.4	
	30代 (n=316)	子どもを安心して育てられる 55.4	医療体制が充実している 46.5	豊かな自然がある 37.7	災害に強い 36.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.5
	40代 (n=449)	医療体制が充実している 52.3	災害に強い 44.3	子どもを安心して育てられる 39.6	豊かな自然がある 37.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.2
	50代 (n=449)	医療体制が充実している 58.6	災害に強い 45.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.4	豊かな自然がある 38.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 38.1
	60代 (n=427)	医療体制が充実している 65.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 52.2	豊かな自然がある 45.4	災害に強い 38.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 30.0
	70歳以上 (n=685)	医療体制が充実している 55.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.0	豊かな自然がある 43.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 33.9	災害に強い 29.6

全体では「医療体制が充実している」が1位ですが、年齢別にみると、18～29歳で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、30代で「子どもを安心して育てられる」がそれぞれ1位となっています。また、40代と50代では「災害に強い」が2位に、60代と70歳以上では「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」が2位となっています。

なお、性・年齢別 [報告書 P101] にみると、「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」は、男性18～29歳で1位、女性18～29歳では3位となっています。また、「子どもを安心して育てられる」は、女性18～29歳、男女30代でそれぞれ1位となっています。

詳細

- ◆PDF版 報告書 (横浜市ウェブサイト)
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/shiminisiki/ishiki2020.html>
- ◆冊子版 報告書 3月29日(月)から市庁舎3階市政刊行物・グッズ販売コーナーで販売 (1冊 300円)
- ◆オープンデータ (4月上旬に回答データ公開予定)
<https://data.city.yokohama.lg.jp/>

調査の概要

対象地域	横浜市全域
対象者	市内に居住する18歳以上の方5,000人(外国人含む) 住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送し、回答は郵送回答又はインターネット回答による。
調査時期	令和2年10月8日～10月27日
回収件数	2,627件 (回収率 52.5%)

裏面あり

調査の結果から

市政への要望 ～年齢別集計結果から [報告書 P31] 上位3項目

18～29 歳	地震などの災害対策 31.3%	最寄り駅周辺の整備 26.0%	防犯対策 25.2%
30 代	学校教育の充実 35.4%	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 34.5%	地震などの災害対策 31.0%
40 代	地震などの災害対策 38.8%	学校教育の充実 35.9%	病院や救急医療など地域医療 33.4%
50 代	地震などの災害対策 37.9%	高齢者福祉 34.1%	病院や救急医療など地域医療 33.4%
60 代	高齢者福祉 41.2%	地震などの災害対策 37.0%	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 34.2%
70 歳以上	高齢者福祉 39.0%	地震などの災害対策 36.5%	病院や救急医療など地域医療 35.8%

全体では「地震などの災害対策」が1位となっていますが、年齢別にみると、30代で「学校教育の充実」、60代、70歳以上で「高齢者福祉」が1位となっています。

人口減少についてのとらえ方 ～年齢別集計結果から [報告書 P87]

	18～29 歳	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上
望ましい (計)	13.7%	13.6%	9.1%	8.2%	6.6%	6.7%
望ましくない (計)	47.3%	53.2%	62.4%	60.1%	63.0%	70.2%

※「望ましい (計)」は、「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」の計

※「望ましくない (計)」は、「望ましくないと思う」と「どちらかといえば望ましくないと思う」の計

人口減少についてのとらえ方は、年齢別にみると、おおむね年齢が高くなるほど「望ましい (計)」は少なく、「望ましくない (計)」は多くなっています。

【関連】 [報告書 P89、P92]

- ◎ 人口減少が望ましいと思う理由 / 1位：今は人が多過ぎると思うから (68.5%)、2位：交通渋滞や満員電車が改善されると思うから (54.3%)
- ◎ 人口減少が望ましくないと思う理由 / 1位：年金や介護保険などの社会保障に支障が生じると思うから (78.9%)、2位：労働力不足により経済活動に支障が生じると思うから (73.3%)

環境の変化への期待・不安 ～性・年齢別集計結果から [報告書 P108、P117]

		18～29 歳	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上
<新たな仕事スタイル>							
仕事をする場所や時間が選択できるなど、新たな仕事スタイルが広がること							
期待 (計)	男性	81.2%	74.6%	71.3%	64.4%	64.4%	55.7%
	女性	81.4%	81.7%	76.8%	70.2%	64.8%	57.2%
<キャッシュレス化>							
キャッシュレス化 (支払い等に現金を使用せず、クレジットカードや電子マネー等を利用するなど) が進むこと							
期待 (計)	男性	76.1%	65.6%	53.6%	55.9%	38.5%	23.9%
	女性	69.7%	55.5%	45.3%	36.0%	23.7%	14.7%

※「期待 (計)」は、「期待している」と「どちらかといえば期待している」の計

「期待 (計)」について、性・年齢別にみると、<新たな仕事スタイル>はおおむね年齢が低いほど「期待 (計)」が多くなっています。また、男性よりも女性のほうが多くなっています。<キャッシュレス化>も年齢が低いほど「期待 (計)」は多く、年代による差がかなり大きくなっています。

(注) 昨年12月公表の速報値から、一部の設問で「無回答」又は「わからない」の集計結果に変更があります。詳しくは横浜市ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/shiminisiki/ishiki2020.html>

お問合せ先		
政策局政策課データ活用推進等担当課長	小柳 八之	Tel 045-671-4087